

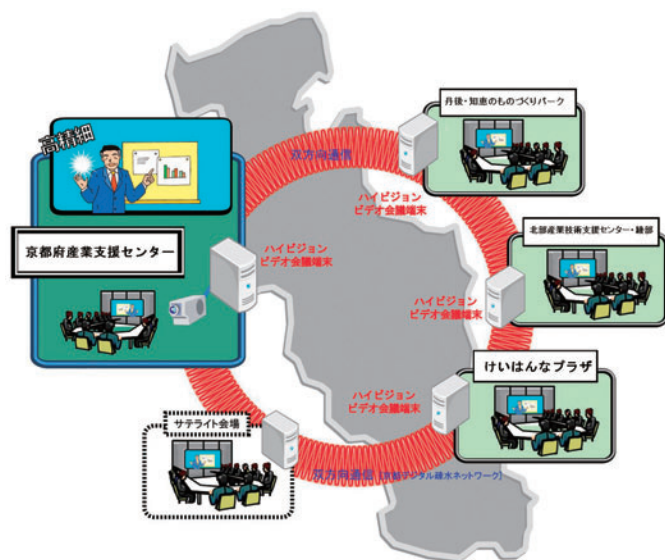
ハイビジョン会議システムによる遠隔セミナーを実施します!

時間と距離の制約を解消できるハイビジョン会議システムを活用し、府内企業の技術者が遠隔地で開催するセミナーの受講等が可能となるように、今後、遠隔セミナー等を実施していきます。今回はその概要と整備内容について紹介します。

従来から当センターにおいては、府内企業の技術者を対象とし、技術動向の把握や技術革新等に役立てていただくためのセミナー、講習会等を多数実施しています。しかし、南部及び北部企業の受講希望者においては、時間をかけて京都市内まで足を運んでいただかないと受講できませんでした。

今回、この時間と距離の制約を解消するため総務省の平成21年度地域情報通信技術利活用推進交付金(コビキタスタウン構想推進事業)の採択を受け、ハイビジョン会議システム、アーカイブシステムを整備しました。ハイビジョン会議システムは、以下の4拠点へ設置し京都デジタル疎水ネットワークで接続しています。

- ・京都府産業支援センター (当センター:京都市)
- ・けいはんなプラザ (当センターけいはんな分室:精華町)
- ・北部産業技術支援センター・綾部 (当センター中丹技術支援室:綾部市)
- ・丹後・知恵のものづくりパーク (京都府織物・機械金属振興センター:京丹後市)



ハイビジョン会議システム

これにより、ハイビジョン会議システムを設置した拠点で開催するセミナーは、他の拠点においても、高精細なハイビジョン映像でリアルタイムに受講することが可能となります。配信する映像は、講師映像に加え、ITU-Tで標準化されたH.239と呼ばれるデュアルビデオ規格を用いて、パワーポイントのパソコン画面等を同時に配信でき、講演後の質疑応答時には双方向でのやりとりができるため、遠隔セミナーの会場であっても、セミナー開催会場と同等な臨場感で受講することができます。

ハイビジョン会議システムの主な仕様

配信可能映像	1080i対応 (1920×1080画素数)
圧縮コーデック	MPEG-4 AVC/H.264 (ITU-T勧告による規格)
送受信プロトコル	H.320、H.323
デュアルビデオ規格	H.239

この遠隔セミナーの映像をハイビジョン画質のまま蓄積し、ブルーレイディスクを作成するためのアーカイブシステムもあわせて整備しています。これにより、過去に実施されたセミナーを会場と同様の高精細な映像を用いて、いつでも再聴講、再学習することが可能となります。

また遠隔セミナーだけでなく、高精細な双方向映像を使用することで相談対象物の詳細が把握でき、拠点をまたがる技術相談等にも活用を図っていきます。

【お問い合わせ先】

京都府中小企業技術センター
企画連携課 情報・デザイン担当

TEL:075-315-9506 FAX:075-315-9497
E-mail:design@mtc.pref.kyoto.lg.jp